

この製品は生産終了につき
販売するごときはありません

生産終了品

出張修理

カラー玄関番3：3型保証書

本書はお引渡しの日から下記期間中故障が発生した場合
には本書裏面、記載内容で無料修理を行うことをお約束
するものです。

詳細は裏面をご参照ください。

※品番			
保証期間	お引渡し日より 1カ年		
※お引渡し日	年	月	日
※お客様	ご住所 お名前 様		
電話	()		—
※施工店	住所・氏名 電話 () —		

松下電工株式会社
HA機器事業部

〒514-8555 三重県津市大字磯方1668番地 TEL (059) 228-1211

施工店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しください。

便利メス（おぼえのため、記入されると便利です。）

郵便番号

〒

電話 () —

住所

株式会社 HA機器事業部

大阪府門真市門真1048 TEL (06) 6908-1131 (大代表)

三重県津市大字磯方1668 TEL (059) 228-1211 (代表)

郵便番号

〒

National
松下電工

カラー玄関番3：3型

3：3型親機、カラーカメラ付トナホ子器セット WQC4339W

親機 WQC433W
副機 WQC436W
通話副親機 WQC437W

取扱説明書

- お買い上げありがとうございます。
- ご使用まえに必ずお読みください。
- 大切に保管してください。

保証書付

ご使用まえに

●この商品は、子器との通話機能
および玄関まわりの様子を映像
と音で確認できる機能
(WQC433W・WQC436Wのみ)
を持っています。

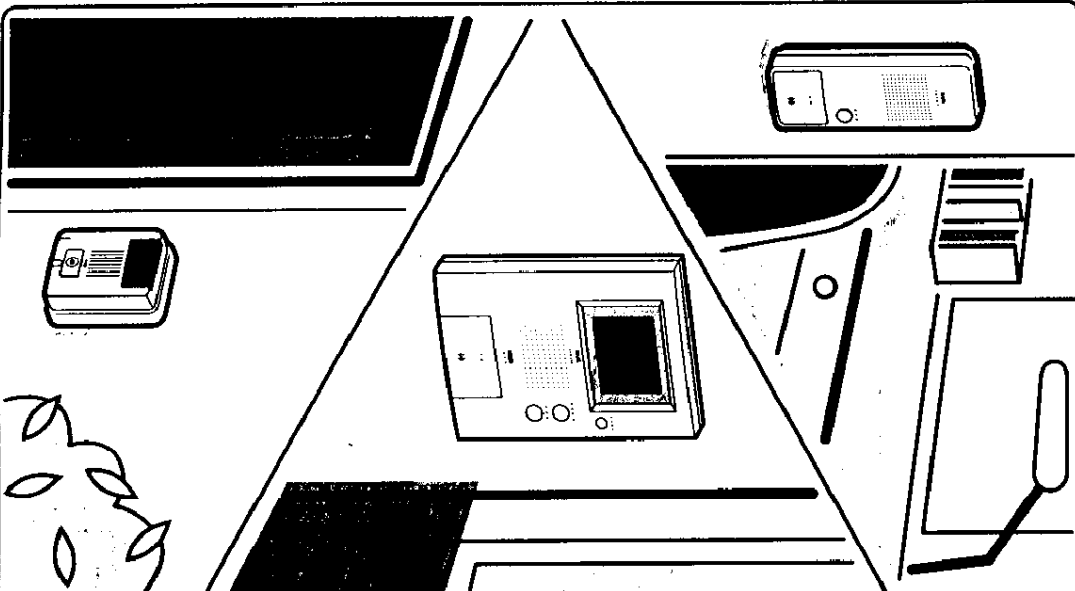
また副親機を接続して室内間での通話ができます。

親機と副親機 (WQC436W) は増設スビーカーを接続してほかの部屋にも来客を知らせます。

安全上のご注意

警告

- 商品は分解しないでください。
- 親機・副親機 (WQC436W) の内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。



生産終了品

この商品は生産終了につき
販売するごときはありません

もくじ

1

■ ご注意 _____ **2**

■ 各部のなまえとはたらき _____ **3～6**

● 親機・副親機 (WQC436W) ----- **3～4**

● 副親機 (WQC437W)・子器 ----- **5～6**

■ 子器との通話 _____ **7～10**

● 子器と通話中にほかの子器から呼び出されたら ----- **9**

● 玄関先の様子が知りたいとき ----- **10**

■ 内線通話 _____ **11～12**

● 内線通話中に子器から呼び出されたら ----- **12**

■ こんな使い方もできます _____ **13～14**

■ 異常時の点検 _____ **15**

■ 仕様 _____ **16**

■ 保証とアフターサービス _____ **17**

使用上のご注意

● 水をかけないで!

故障の原因となります。



● ストーブなど高温の物を近づけないで!

故障の原因となります。



● 炊飯器など湯気の出る物を下に置かないで!

故障の原因となります。



● テレビ・ラジオは2m以上離して!

映像や音声が悪化する場合があります。



お手入れ

ふだんのおそうじは…

やわらかい布でふき取ってください。

汚れが目立つときは…

中性洗剤を薄めた液にやわらかい布を浸し、固く絞ってふき取ってください。
噴霧式の洗剤は使用しないでください。



● ペンジンなどは引火性があるため、使用しないでください。

ご注意

● 親機・副親機は屋内で使用してください。

● この商品は、予備電源(バッテリー)を内蔵していませんので停電の場合は動作しません。

● 親機・副親機から50cm以内の距離で通話してください。

● 親機・副親機と子器のまわりの音が大きく騒がしいとき(赤ちゃんの泣き声、犬の鳴き声、ステレオの音響など)は、音声とぎれて聞き取りにくくなる場合があります。

● 親機・副親機と子器で通話するときは相手の話が終わらないうちに話すと、声とぎれて聞こえることがあります。話がいったん終わったらところで話すとスムーズな会話ができます。

● 携帯電話やPHS電話を使用中に親機・副親機に近づけると、映像や音声が悪化する場合がありますが、故障ではありません。

● 近くに高出力の無線局や強い磁気が発生するものがあると、映像や音声が悪化する場合がありますが、故障ではありません。

● 夜間など周囲が暗くなると、子器は自動的に内蔵の赤外線照明を点灯させて撮像します。その場合はモニター画面表示は白黒の映像になり、子器から50cm以内の来客などを映し出します。

(赤外線照明の照射距離が約50cmのため、それ以上離れている背景などは映し出せません。) またカラー/白黒切替ボタンを押して、カラー映像への切り替えもできます。

ただし、周囲が暗すぎる場合は、カラー映像に切り替えると画面が見えにくくなる場合がありますので、再度カラー/白黒切替ボタンを押して白黒映像で使用するください。

● 子器に直射日光や強い照明の光などが入ると、親機・副親機の画面に縦の白線が生じて像が白くなったり、太陽光による反射模様が発生することがありますが、故障ではありません。(右図)

使用上問題がある場合は、子器の取付場所を変更してください。

● 外気温が急激にさがった場合(降雨後など)、子器のカメラ部がくもり映像がぼやけることがあります。故障ではありません。しばらく放置すると正常に戻ります。

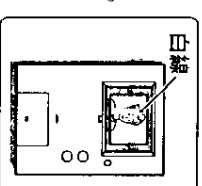
● 子器は防雨構造になっていますが、ホースなどで故意に水をかけないでください。

● 冬期、子器の表面が凍結すると、映像が見えにくくなったり、呼出ボタンが動かないことがあります。故障ではありません。

● 2世帯住宅などでカラー玄關番を2セット使用する場合、子器2台を併設して設置すると、夜間などには片側の子器の赤外線照明が反射して、もう一方の子器はカラー映像で映し出し、親機の画面が暗くなる場合があります。

その場合は本体下面のカラー/白黒切替ボタンを押して白黒映像にしてください。

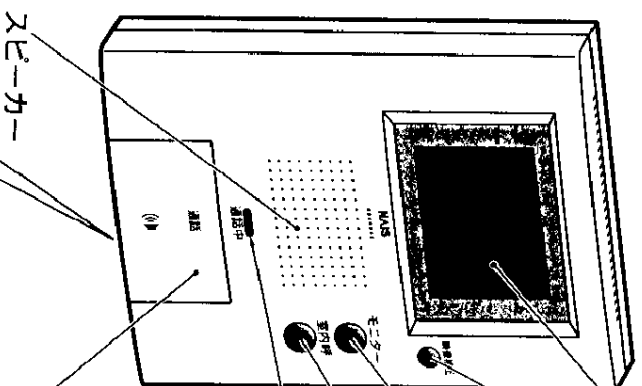
● モニター画面に使用している液晶には、画素欠けや常時点灯する画素がある場合がありますが、故障ではありません。



各部のなまえとはたらき

親機

カラー玄関番3：3型 親機 (WQC433W)



モニター画面

映像補正ボタン

- 映像が見づらい場合に押します。
[背景が明るく顔が暗い場合や、顔が明る過ぎる] 場合に押すと、見やすい映像に補正されます。

映像が映し出されているときに設定可能

モニターボタン

- 玄関先の様子を確認するときに押します。

室内呼ボタン

- 副親機を呼び出すときに押します。

通話中ランプ

- 呼出時に点滅し、通話時に点灯します。

通話中ランプ 呼び出す機器	呼出中	通話中
子器 1	赤色点滅	赤色点灯
子器 2	黄色点滅	黄色点灯
子器 3	赤色点滅 (濃い点滅)	赤色点灯
親機・副親機 (室内呼)	緑色点滅	緑色点灯

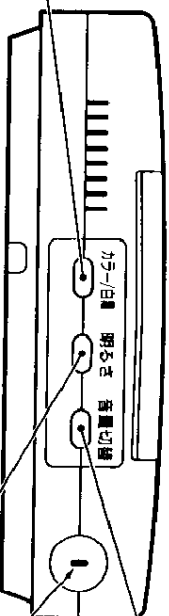
通話ボタン

- 通話するときに押します。

スピーカー

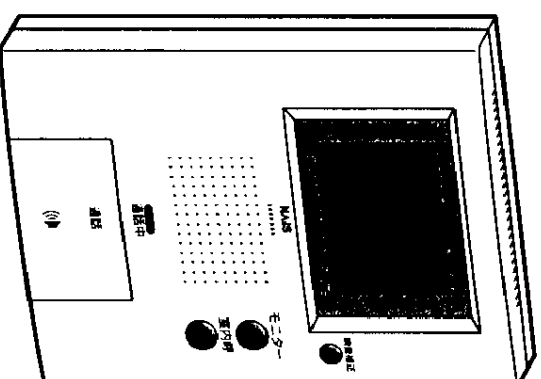
カラー／白黒切替ボタン

- 押すと、表示がカラーまたは白黒に切り替わります。
(切り替えた表示状態は映像が消えるまで有効です。)
夕方の薄暗いときなどカラー映像で確認しにくい場合は、白黒映像に切り替えて確認してください。



副親機

カラー玄関番3：3型 副親機 (WQC436W)



注

- この説明書で説明している「副親機」は副親機 (WQC436W) と通話副親機 (WQC437W) を示します。
●操作ボタンなどについては、親機 (WQC433W) と同じです。
親機側を参照してください。

呼出音量切替ボタン(出荷時：「大」設定)

- 押すと、現在の設定レベルの音量で呼出音が鳴ります。
5秒以内に続けて押すと、呼出音量(大・中・小)の設定ができます。

映像が消えているときに設定可能

- 呼出音を鳴らないようにすることはできません。
- 通話音量の切り替えはできません。

通話用マイク

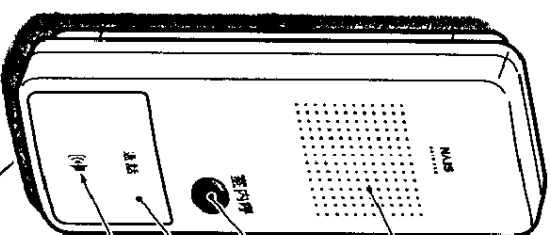
明るさ切替ボタン(出荷時：「標準」設定)

- 押すと、モニター画面の明るさを3段階(明・標準・暗)で設定できます。
映像が映し出されているときに設定可能

副 親 機

カラー玄関番3：3型 通話副親機 (WQC437W)

- この説明書で説明している「副親機」は副親機 (WQC436W) と通話副親機 (WQC437W) を示します。
- 映像機能はありません。



スピーカー

室内呼ボタン

- 親機または副親機を呼び出すときに押します。

通話ボタン

- 通話するときには押します。

通話中ランプ

- 呼出時に点滅し、通話時に点灯します。

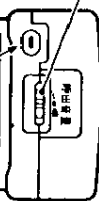
通話中ランプ 呼び出す機器	呼出中	通話中
子器 1	赤色点滅	赤色点灯
子器 2	黄色点滅	黄色点灯
子器 3	赤色点滅 (遅い点滅)	赤色点灯
親機・副親機 (室内呼)	緑色点滅	緑色点灯

呼出音量切替スイッチ

- 呼出音量を3段階 (小・中・大) で調整できます。

注

- 呼出音量切替スイッチでは、呼出音を鳴らないようにすることはできません。呼出音を鳴らないようにしたい場合は、施工説明書を参照してください。
- 通話音量の調整はできません。

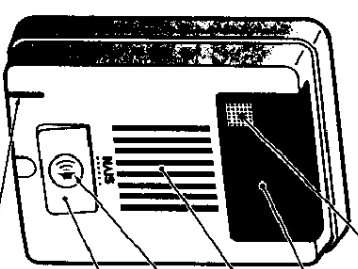


通話用マイク

子 器

カラーカメラ付ドアホン子器 (露出型) (WQC800A) ドアホン子器 (露出型) (カラー玄関番3：3型専用) (WQC500A)

- カラーカメラ付ドアホン子器 (露出型) (WQC800A)
- WQC4339W (セット品) にはカラーカメラ付ドアホン子器 (WQC800A) が1台付属されています。



受光部 (周囲の明るさを検知します。)

カメラ部

スピーカー

位置表示灯 (緑色)

- 暗い場所でも呼出ボタンの位置が確認できます。

呼出ボタン

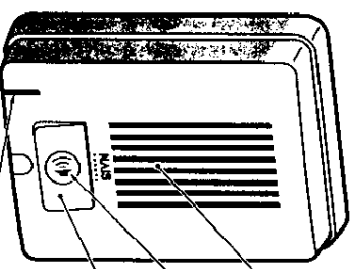
- 呼び出すときに押します。

通話用マイク

- 通話用マイクが内蔵されています。

ドアホン子器 (露出型) (カラー玄関番3：3型専用) (WQC500A)

- 映像機能はありません。



スピーカー

位置表示灯 (緑色)

- 暗い場所でも呼出ボタンの位置が確認できます。

呼出ボタン

- 呼び出すときに押します。

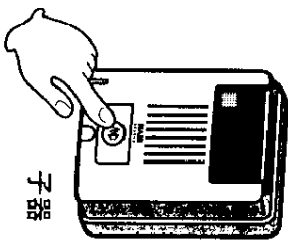
通話用マイク

- 通話用マイクが内蔵されています。

子器との通話

お客様が来られたら

ピンポン・ピンポン

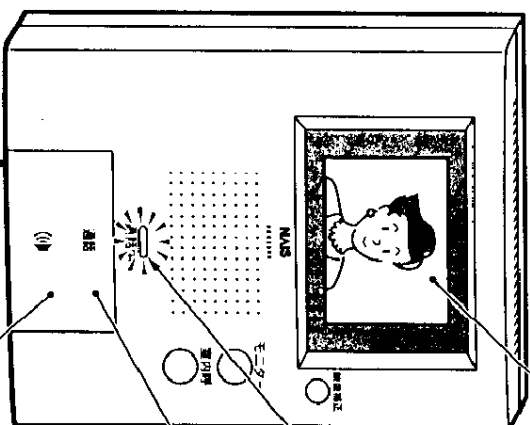


呼出側	呼出音
子器 1	「ピンポン」音
子器 2	「ピンポン」音
子器 3	「ピンポン・ピンポン」音

〔注〕

子器から呼出中にほかの子器の呼出ボタンが押されると、後で押した方の子器が優先されます。

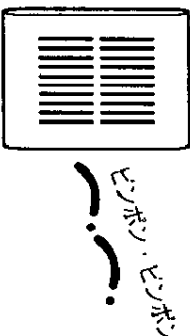
ピンポン・ピンポン



通話中ランプ

親機

増設スピーカー



増設スピーカーを接続している場合

●親機と同時に同じ呼出音が鳴ります。

〔光る増設スピーカーを接続した場合、呼出音と同時にフラッシュランプが光ります。〕

1 お客様が映る(映像が出る)

通話中ランプ点滅

〔注〕

●子器から呼び出しがあっても、親機の通話ボタンを押さなければ通話できません。

●呼出音が鳴り終わって通話ボタンを押さずに約30秒経過すると、映像および通話中ランプは自動的に消えます。

●夜間など周囲が暗くなると、子器は自動的に内蔵の赤外線照明を点灯させて、白黒映像で画像します。

このときカラー／白黒切替ボタンを押すと、薄暗くカラー映像に切り替わります。また、周囲が暗すぎる場合には画面が真っ暗になります。この場合は、再度カラー／白黒切替ボタンを押して、白黒映像で使ってください。

呼出側	呼出音	通話中ランプ
子器 1	「ピンポン」音	赤色点滅
子器 2	「ピンポン」音	黄色点滅
子器 3	「ピンポン・ピンポン」音	赤色点滅(速い点滅)

2 押す(応答する)

通話中ランプ点灯

〔注〕

●「ピッ」音確認後、通話してください。

●通話開始から約1分間で映像と通話は自動的に終了します。

呼出側	通話中ランプ
子器 1	赤色点灯
子器 2	黄色点灯
子器 3	赤色点灯

子器側の騒音が大きく、通話がうまくできない場合は…

●通話ボタンを押しながら通話すると、室内の音が優先され子器へ応答できます。(子器側からの音声や騒音は室内側には聞こえません。) 応答後手をはなすと、子器側の音声が聞こえる状態になります。

再度通話するときは… 映像と通話が自動的に終了した後、10秒以内にもう一度通話ボタンを押します。

3 押す(終了する)

通話中ランプ消灯

〔注〕

●「ピッ」音が鳴り、終了します。

●約0.7秒以上押すと、通話状態を継続し、通話を終了できません。

通話中ランプが点灯している間は、子器に室内からの音が聞かれますので、必ず通話中ランプが消灯したことを確認してください。

●通話ボタンを押し忘れても、通話開始から約1分後、自動的に終了します。

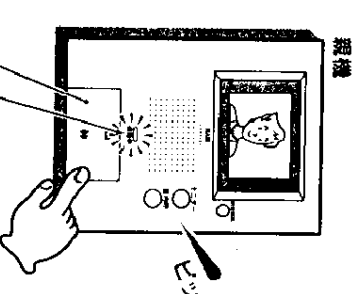
〔注〕
●副親機でも応答できます。(操作方法は同じです。) ただし通話副親機からは映像は出ません。
●トアホン子器(WQC500A)からの呼出時、通話時には映像は出ません。(モニター画面が薄明るくなりますが、故障ではありません。)

■子器と通話中にほかの子器から呼び出されたら

① 親機・副親機から子器の呼出音が鳴る

呼出側	呼出音
子器 1	「ピンポン・ピンポン」音
子器 2	「ピンポン」音
子器 3	「ピンポン・ピンポン・ピンポン」音

② 通話ボタンを2回押す



通話中ランプ	通話先
赤色点灯	子器 1
黄色点灯	子器 2
赤色点灯	子器 3

〔注〕通話ボタンを1回押すと、全ての親機・副親機の通話中ランプが点滅し、呼び出した子器の映像が映ります。

(先に通話していた子器との通話は終了します。)

③ 呼び出した子器と通話する

〔注〕応答しなかった親機・副親機の通話中ランプは消灯します。

子器から呼び出されるときに親機・副親機の通話ボタンを押すと、子器と通話できます。通話ボタンを押すたびに通話中ランプは

赤色 → 黄色 → 赤色 → 消灯 と切り替わり、通話する子器を知らせます。

〔注〕子器が接続されていない通話先は自動的にとばされます。

通話中ランプ	通話先
赤色点灯	子器 1
黄色点灯	子器 2
赤色点灯	子器 3
消 灯	通話が切れる

■玄関先の様子が知りたいとき

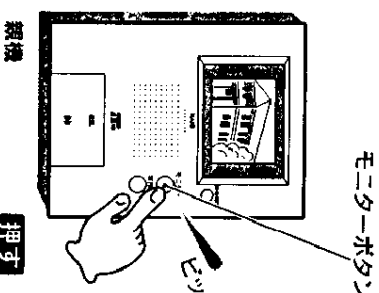
●子器が設置されている玄関まわりの様子を映像と音で確認できます。

モニターボタンを押してください。

(映像が消えているときのみ有効)

モニターボタンを押すたびに映像が
子器 1 → 子器 2 → 子器 3 → 切 と切り替わります。

〔注〕ドアホン子器 (WQCS500A) が設置されている玄関まわりの様子は音のみで確認できます。(映像は出ません。)
●接続されていない子器の映像は自動的にとばされます。



約30秒経過すると映像は消えます。

30秒以内に終了する場合は再度、モニターボタンを押してください。

〔注〕

●室内の音は玄関先には聞こえません。

●映像がはつきりと映し出されるまで最大約4秒かかります。

●通話副親機に映像機能はありません。

●夜間など周囲が暗くなると、子器は自動的に内蔵の赤外線照明を点灯させて、白黒映像で撮像します。

このときカラー／白黒切替ボタンを押すと、薄暗くカラー映像に切り替わります。また、周囲が暗すぎる場合には画面が真っ暗になります。

この場合は、再度カラー／白黒切替ボタンを押して、白黒映像で使用してください。

内線通話

- 副親機でも呼び出し、応答ができます。(操作方法は同じです。)
- 内線通話(親機と副親機間の通話)では映像は映し出しません。
- 親機・副親機を指定しての個別呼出しはできません。

①室内呼ボタンを押す (親機で呼び出す)

増設用スピーカーを接続している場合

- 親機と同時に同じ呼出音が鳴ります。
- (光る増設スピーカーを接続した場合は、呼出音と同時にフラッシュランプが光ります。)

トークバック機能

室内呼ボタンを押し指を離してから約10秒間は、通話ボタンを押さなくても通話できます。(約10秒経過すると通話中ランプは緑色点滅し、呼出状態に変わります。)

注 約10秒間は全ての親機・副親機間で相互の音声を聞ける状態になります。

②通話ボタンを押す (副親機で応答する)

- 注 ●「ビッ」音確認後、通話してください。
- 通話開始から約1分間で通話は自動的に切れます。
 - 通話ボタンを押さなかった副親機の通話中ランプは消灯します。

③通話ボタンを押す(終了する)

親機または副親機のいずれか一方の通話ボタンを押します。

(通話ボタンを押し忘れても通話開始から約1分間で自動的に終了します。)

内線通話中に子器から呼び出されたら

①親機・副親機から子器の呼出音が鳴る

呼出側	呼出音
子器1	「ピンポン・ピンポン」音
子器2	「ピンポン」音
子器3	「ピンポン・ピンポン・ピンポン」音

②応答する側が通話ボタンを2回押す

通話中ランプ	通話先
赤色点灯	子器1
黄色点灯	子器2
赤色点灯	子器3

注 通話ボタンを1回押すと、親機・副親機の通話中ランプが点滅し、呼び出した子器の映像が映ります。

(内線通話は終了します。)

③呼び出した子器と通話する

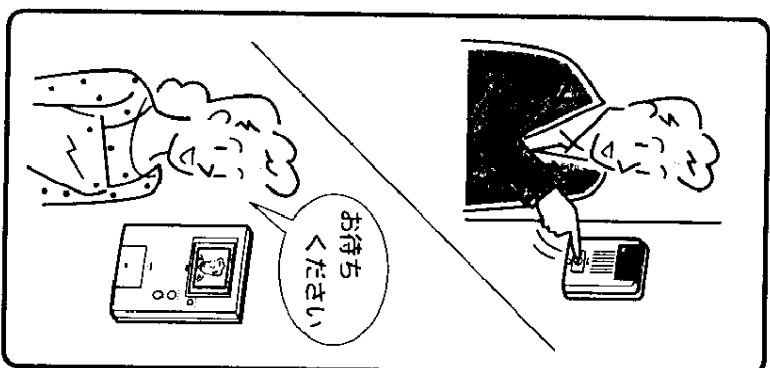
注 通話ボタンを押さなかった親機・副親機の通話中ランプは消灯します。

こんな使い方もできます

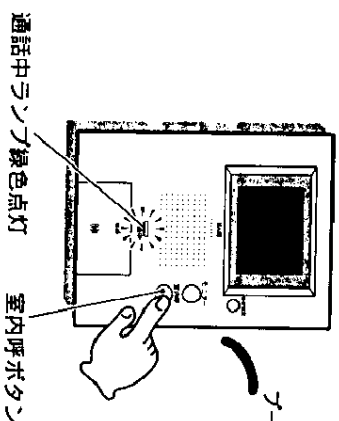
■ 来客連絡 子器からの呼び出しを親機または副親機に連絡します。

子器からの呼び出しと対応

連絡する側（室内連絡）



① 室内呼ボタンを押す



② 連絡する

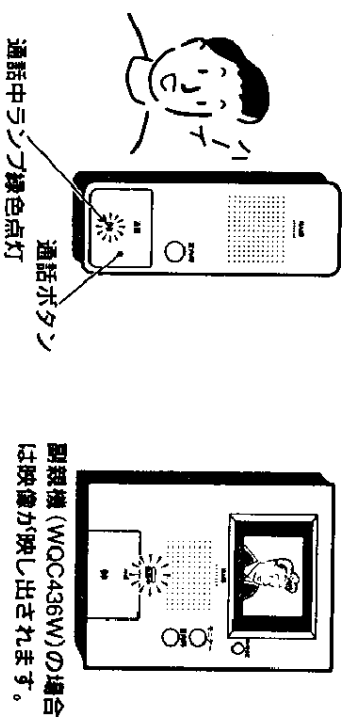


注 連絡先が応答しない場合は通話ボタンを押して連絡を終了させてください。その後、通話ボタンを押して、再度子器と通話してください。

通話

連絡された側（連絡応答と子器通話）

① 通話ボタンを押す（連絡した側に応答する）



注 通話ボタンを再度押すと、連絡した側との通話が終了します。

② 通話ボタンを再度押す（子器を呼び出し、応答する）

通話中ランプの色で応答する子器を確認してください。

● 通話ボタンを押すたびに通話中ランプは
赤色 → 黄色 → 赤色 → 消灯 と切り替わります。

注 子器が接続されていない通話先は自動的にとばされます。

通話中ランプ	通話先
赤色点灯	子器1
黄色点灯	子器2
赤色点灯	子器3

通話を終了する場合は、通話中ランプが消灯するまで通話ボタンを繰り返し押してください。

星堂時の点検

●修理サービスを依頼される前に、次の点検をしてください。

状態点検

全く動作しない	プレーカーが切れていませんか？
映像がはっきりしない	明るさ切替ボタンの設定（明・標準・暗）は適切ですか？（4ページ参照） 子器のカメラ部がくもっていませんか？（くもりが取れるまで、しばらく放置してください。）
呼出音量が小さい	呼出音量の設定が「小または中」の設定になっていませんか？（4ページ参照）
画面が白黒になる	子器の周囲が暗くなっていますか？ （故障ではありません。夜間など周囲が暗くなると、子器は自動的に内蔵の赤外線照明を点灯させて、白黒映像で撮像します。8ページの「注」を参照してください。）
●通話がとぎれる ●片方向通話になる ●通話に雑音が入る	親機（副親機）・子器のまわりで大きな音が出ていませんか？ （故障ではありません。まわりの音が大きく騒がしいとき、音声をとぎれることがあります。8ページの「子器側の雑音が大きく、通話ができないう場合は…」を参照して、通話してください。）

仕様

カラー玄関番3：3型 親機（WQC433W）	
電源電圧	AC100V 50/60Hz
消費電力	動作時14W 待機時3W
通話方式	音声自動切替方式
使用周囲温度	0℃～+40℃
画面	3.5型カラーTFT液晶
水平解像度	200TV本以上（中心にて）
質量	約690g（取付金具も含む）

カラー玄関番3：3型 副親機（WQC436W）	
電源電圧	AC100V 50/60Hz
消費電力	動作時6W 待機時2W
通話方式	音声自動切替方式
使用周囲温度	0℃～+40℃
画面	3.5型カラーTFT液晶
水平解像度	200TV本以上（中心にて）
質量	約670g（取付金具も含む）

カラー玄関番3：3型 通話副親機（WQC437W）	
電源電圧	最大DC15V（親機より供給）
通話方式	音声自動切替方式
使用周囲温度	0℃～+40℃
質量	約300g（取付金具も含む）

カラーカメラ付ドアホン子器（露出型）（カラー玄関番（WQC品番）専用）（WQC800A）	
電源電圧	最大DC22V（親機より供給）
消費電流	最大270mA
撮像素子	CCD型固体撮像素子
最低被写体照度	※約1ルクス 〔近赤外線発光素子内蔵〕 〔による白黒映像時〕
使用周囲温度	-10℃～+50℃
質量	約210g

ドアホン子器（露出型）（カラー玄関番3：3型専用）（WQC500A）	
電源電圧	最大DC22V（親機より供給）
消費電流	最大70mA
使用周囲温度	-10℃～+50℃
質量	約180g

保証とアフターサービス (よくお読みください。)

保証書について

保証書はこの取扱説明書についておりますので、必ず「施工店、お引渡し日」などの記入をお確かめになり、保証内容などをよくお読みいただき大切に保管してください。

保証期間はお引き渡し日より1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこのカラー玄関番3：3型の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低7年間保有しています。

性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

サービスを依頼される前に、この取扱説明書の「異常時の点検」にしたがってご確認いただき、なお異常がある場合は、ご使用を中止し、お買い上げの施工店にご依頼ください。

●保証期間中は

お買い上げの施工店まで、品名、品番、お引き渡し日、故障の状況（できるだけ具体的に）、ご住所、お名前、電話番号、修理ご希望日をご連絡ください。保証の規定にしたがって施工店が修理させていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

お買い上げの施工店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

●アフターサービスについてご不明な点は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの施工店またはお近くの松下電工お客様ご相談窓口（別紙一覧表ご参照）にお問い合わせください。

＜無料修理規定＞

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書にしたがった使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 - (イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
 - (ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの松下電工お客様ご相談窓口にご連絡ください。
 - (ハ) この商品は、出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはお近くの松下電工お客様ご相談窓口にご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けにならない場合には、お近くの松下電工お客様ご相談窓口へご連絡ください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
 - (ニ) 一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障および損傷
 - (ホ) 本書のご提示がない場合
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (ト) 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- お近くの松下電工お客様ご相談窓口は同梱別紙の一覧表をご参照ください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの松下電工お客様ご相談窓口にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書をご覧ください。

※ This warranty is valid only in Japan.